

## 初期繰越額入力

実務使用開始時の繰越額の処理は複雑ですが重要な操作です。らくほんNext では次の方法が可能です。

顧客件数が少ない時

[顧客元帳](#)で可能。使用開始時の繰越額を税込で入力。( [基本設定](#) : 顧客元帳の「[顧客元帳](#)で、前月残と現残高を変更可能とする」をチェックしないと出来ません。)

[請求グループ](#)(締日)がひとつだけの時

請求書締日までに、いままでのシステムで請求書を作成して、残高を初期繰越額入力で入力します。この処理は次回の請求書作成までにすればいいですが、出来るだけ早期の処理をお勧めします。また納品書や入金・調整処理の日付は必ず締日以降に設定してください。

[請求グループ](#)(締日)がふたつ以上の時

1. 切替日を決めて、いままでのシステムでその日での精算を行い、その繰越額をらくほんNext に引き継ぎます。この場合は締日によっては2枚の請求書を顧客に渡すこととなりますが、以降は簡単になります。
2. 最初の締日から最終の締日の間は、いままでのシステムとらくほんNext と両方で操作し、最終の締日の後にそれぞれの締日の繰越額を初期繰越額入力で入力します。この場合は締日以降の入金の処理も必要です。らくほんNext での締切日前の処理は削除されて残高には反映されません。

初期繰越額の入力方法 → [次ページ](#)

## 初期繰越額の入力

### 作業準備

顧客コードと繰越額を記入した表を作成します。ここでの入力、仮名による顧客検索は出来ませんので、あらかじめ顧客コードを調べて記入しておきます。

### 納品と入金データの処理方法

#### 1. 納品と入金データは削除しない

入力済の納品と入金データを削除しないで、顧客元帳のデータだけを更新します。

#### 2. 指定日を設定し、その日以前の納品と入金データを削除する

指定日付欄で設定した日付前の納品と入金データは更新済となり、次回の請求書には記載されません。

#### 3. 全ての納品と入金データを削除する

入力済の納品と入金データは更新済となり、次回の請求書には記載されません。

いずれも入力した顧客のみ、処理されます。

初期繰越額入力

ヘルプ(F1) 閉じる(F4) 更新(F8) 入力された顧客のデータのみ更新されます 行削除(Del)

納品と入金データの処理方法

1. 納品と入金データは削除しない

2. 指定日を設定し、その日以前の納品と入金データを削除する

3. 全ての納品と入金データを削除する

指定日付  
2021年10月27日

注:指定日付も含む

1・2の場合、登録済の納品データと処理日の消費税率が違う場合は正確な計算が出来ません。

顧客コード	繰越額	氏名	住所	備考
2	500	太田商店	中池商店街	31
3	1,500	石田薬局	本町一丁目	31
4	1,000	土井		1
51000	12,350	北部社協	北部社協	2

合計 4 件 15,350 円